

第三号様式（第三条関係）（A4）

定期報告書

（第一面）

エネルギーの使用の合理化に関する法律（以下「法」という。）第75条第5項又は法第75条の2第3項の規定による報告をします。この定期報告書に記載の事項は、事実と相違ありません。

所管行政庁 様

平成 年 月 日

報告者（所有者又は管理者）氏名 印

【定期報告の別】

第一種特定建築物（法第75条第5項の規定による報告）

第二種特定建築物（法第75条の2第3項の規定による報告）

受付欄	特記欄	整理番号欄
平成 年 月 日		
第 号		
係員印		



## 建築物の維持保全の状況等

## 【 1 . 届出及び報告の状況】

【イ . 届出をした日】平成 年 月 日 ( 受付番号 )  
 【ロ . 届出をした部分】 直接外気に接する屋根、壁又は床 空気調和設備  
 空気調和設備以外の機械換気設備 照明設備  
 給湯設備 昇降機  
 【ハ . 用途区分】 ホテル等 病院等 物品販売業を営む店舗等 事務所等  
 学校等 飲食店等 集会所等 工場等 住宅  
 【ニ . 届出書の有無】 有 無  
 【ホ . 報告をした日】平成 年 月 日 ( 受付番号 )  
 【ヘ . 報告書の有無】 有 無  
 【ト . 法第 76 条第 2 項の書面の交付】平成 年 月 日  
 ( 機関名 ) ( 調査番号 )

## 【 2 . 建築物の維持保全の状況】

## 【イ . 省エネルギー措置の変更の有無】

	有 / 無	変更後の省エネルギー措置の概要
外壁、窓等	/	
空気調和設備	/	
空気調和設備以外の機械換気設備	/	
照明設備	/	
給湯設備	/	
昇降機	/	

## 【ロ . 省エネルギー性能の維持保全の状況】

	定期報告項目	確認内容	適 / 不適
外壁、窓等	室の配置	熱の損失が増大しないように採用した室の配置等に変更がない	/
	外壁、窓等の保存	目視による外壁、窓等の破損がない	/
	窓の清掃等	ガラス等が清掃され、建具周りの気密材に破損がない	/
	日射遮蔽装置の保全	ひさし・屋外日よけの破損がない ブラインド・カーテン等が正常に作動している	/ /
空気調和設備	熱源機器の台数制御	熱源機器の台数制御が正常に作動している	/
	蓄熱空調システムにおける熱源機器の作動	蓄熱空調システムにおける熱源機器が正常に作動している	/
	冷温水の変流量制御	冷温水の変流量制御が正常に作動している	/
	空気調和機の変風量制御	空気調和機の変風量制御が正常に作動している	/
	予冷・予熱時外気シャットオフ制御	予冷・予熱時外気シャットオフ制御が正常に作動している ( モーターダンパーの作動 )	/
	最小外気負荷制御	最小外気負荷制御が正常に作動している	/
	ヒートポンプ方式の空調機	フィルターに汚れや目詰まりがない 冷媒管に液漏れがない 吹き出し口から適切な風量がある 温度調節ができる	/ / / /
空気調和設備以外の機械換気設備	送風機のフィルター	フィルターの汚れが著しくなく、目詰まりもない	/
	ダンパーの作動	ダンパーが正常に作動している	/
	送風機の制御	送風機の発停 ( オン / オフ ) 制御が正常に作動している 風量制御が正常に作動している	/ /
照明設備	照明環境の維持	光源 ( ランプ ) ・反射板・カバー等が定期的に清掃されている	/

	制御方法の作動状況	カード、センサーによる制御方法が正常に作動している	/
		明るさ検知による自動点滅制御が正常に作動している	/
		適正照度制御が正常に作動している	/
		タイムスケジュール制御が正常に作動している	/
		昼光利用制御が正常に作動している	/
		ゾーニング制御が正常に作動している	/
		局所制御が正常に作動している	/
給湯設備	システムの省エネ性	安全装置（安全弁・膨張管）から常時湯が吹き出ししていない	/
	熱源機器の作動	給湯不要時に、熱源が運転していない(夜間等の貯湯運転時は除く)	/
	熱源機器の断熱・保温	ボイラ本体外周部に高温部・変色部・熱による変形部がなく、及びボイラ本体から異臭・煙がない	/
	配管システムの保温	配管・バルブ・フランジ類の保温材に損傷・腐食・劣化（カビの付着等）がない	/
		配管・バルブ・フランジ類からの水漏れ及び保温材の濡れがない(屋外配管は防水処理箇所の劣化がない)	/
	配管システムの循環ポンプ	循環ポンプからの水漏れがない	/
		運転不要時に、循環ポンプが運転していない	/
	貯湯槽の温度設定	給湯温度が正常に設定されている(給湯温度を必要以上に高温にしていない)	/
貯湯槽の断熱・保温	貯湯槽からの湯漏れ及び貯湯槽周りの保温材の濡れがない	/	
太陽熱システム	集熱器及び配管からの水漏れがない	/	
昇降機	昇降機設備の点検	巻上機の著しい機械的な摩耗及びオイル漏れ等がない	/

【 3 . 備考】

(注意)

1. 各面共通関係

数字は算用数字を用いてください。

2. 第一面関係

報告者(所有者又は管理者)の氏名の記入を自署で行う場合は、押印を省略することができます。

定期報告の別は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

印のある欄は記入しないでください。

3. 第二面関係

報告者(所有者又は管理者)が2者以上の場合は、第二面は代表となる報告者(所有者又は管理者)について記入し、別紙に他の報告者(所有者又は管理者)について必要な事項を記入して添えてください。

1欄は、法第75条第1項前段又は法第75条の2第1項前段の規定による届出(法第75条第1項後段又は法第75条の2第1項後段の規定による変更の届出があったときは、その変更後のもの。以下「届出」といいます。)をした者(届出をした者と当該届出に係る建築物の管理者が異なる場合にあっては管理者とし、当該建築物が譲り渡された場合にあっては譲り受けた者(譲り受けた者と当該建築物の管理者が異なる場合にあっては管理者)とする。)について記入してください。

1欄は、報告者(所有者又は管理者)が法人の場合は、「イ」は法人の名称及び代表者の氏名のフリガナを、「ロ」は法人の名称及び代表者の氏名を、「ニ」は法人の所在地を、報告者(所有者又は管理者)がマンションの管理を行う建物の区分所有等に関する法律第3条又は第65条に規定する団体の場合は、「イ」は団体の名称及び代表者の氏名のフリガナを、「ロ」は団体の名称及び代表者の氏名を、「ニ」は団体の所在地を記入してください。

2欄は、報告者(所有者又は管理者)からの委任を受けて報告をする者がいる場合に記入してください。

3欄は、報告者(所有者又は管理者)からの委託を受けて建築物の維持保全の状況について調査を行う者がいる場合に記入してください。なお、調査を行う者が2者以上いる場合は、第三面2欄の口の表の定期報告項目に掲げる項目のうち、各調査者が調査した項目ごとに記入してください。記入欄が不足する場合は、別紙に記入して添えてください。

4欄の「ニ」は、該当するすべてのチェックボックスに「レ」マークを入れてください。なお、その他の構造からなる場合は、「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて具体的な構造を記入してください。

ここに書き表せない事項で特に報告すべき事項は、5欄に記入し、又は別紙に記入して添えてください。

4. 第三面関係

1欄の「イ」は、届出をした年月日を記入してください。複数の届出をしていて、記入欄が不足する場合は、別紙に記入して添えてください。

1欄の「ロ」及び「ハ」は、該当するすべてのチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

1欄の「ニ」は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

1欄の「ホ」は、過去に法第75条第5項又は法第75条の2第3項の報告(以下単に「報告」といいます。)をした年月日のうち直近のものを記入してください。

1欄の「ヘ」は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

1 欄の「ト」は、登録建築物調査機関が行う建築物調査を受けた場合に、法第 76 条第 2 項の書面が交付された日を記入するとともに、登録建築物調査機関の名称及び調査番号を記入してください。

2 欄の「イ」は、届出（過去に報告をしたことがある場合は直近のもの）以降に行った省エネルギー措置の変更の有無について、変更の「有」又は「無」の該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。「有」の場合は、変更後の省エネルギー措置の概要及びその年月日を「変更後の省エネルギーの措置の概要」の欄にそれぞれ記入してください。記入欄が不足する場合は、別紙に記入して添えてください。なお、法第 75 条の 2 第 3 項の規定による報告を行う場合は、外壁、窓等を通しての熱の損失の防止のための措置に関する事項を記入する必要はありません。

2 欄の「ロ」は、届出（過去に報告をしたことがある場合は直近のもの）以降の、届出に係る事項に関する当該建築物の維持保全の状況について記入してください。なお、法第 75 条の 2 第 3 項の規定による報告を行う場合は、外壁、窓等を通しての熱の損失の防止のための措置に関する事項を記入する必要はありません。

2 欄の「ロ」の表の定期報告項目は、届出時に講じた省エネルギー措置に関し、該当する箇所のチェックボックスすべてに「レ」マークを入れてください。建材や機器等の清掃や補修等によって届出時の省エネルギー性能が適切に維持保全されているかを確認した結果について、それぞれ「適」又は「不適」の該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。「不適」の場合は、その概要を説明するため別紙に必要な事項を記入して添えてください。

ここに書き表せない事項で特に報告すべき事項は、3 欄に記入し、又は別紙に記入して添えてください。